

2018年04月16日

【格付維持】

ベルギー王国

外貨建発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]
 自国通貨建発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

西欧の中心に位置する地の利に支えられ幅広い製造業が立地するほか、サービス産業も発展するなど経済基盤は強い。1人当たり国内総生産(GDP)は4万米ドルに達する。政府の債務負担は重い、家計部門はそれを大きく上回る金融資産を保有しており、資金調達構造は安定している。加えて、財政健全化の進展により、GDP対比でみた債務水準は低下基調にある。経済は緩やかな回復を続ける見込みであることも踏まえ、外貨建および自国通貨建発行体格付を維持した。

実質GDPは過去数年間、内需に牽引されて1%台半ばの緩やかなペースで伸びてきた。こうしたトレンドは2017年もおおむね保たれており、実質GDP成長率は1.7%となった。2018年も、労働市場の改善が民間消費を押し上げるとともに投資が堅調に伸びる状況が続くとみられ、予測機関の平均経済見通しは1.9%となっている。不良債権比率は低水準で推移し、銀行部門の自己資本比率は規制基準を大きく上回っている。事業会社の債務は大きいものの、国境をまたいだ企業グループ内債務が多く、金融システムや経済の安定性を損なう要因となる可能性は低いと中央銀行は指摘する。経済の開放度が高いだけに、欧州経済や金融市場の基調が変化する、あるいは地政学リスクが高まる場合にはその影響を強く受けるが、そうしたリスクが顕在化する可能性は低い。R&Iは、経済は基本的にこれまでの緩やかな回復基調を続けるとみている。

一般政の財政収支は改善基調にあり、2017年の赤字幅はGDP比1.0%となった。前年と比べると約1.5%ポイント縮小した。2018年の財政赤字は、政府予算では1.1%になるとしている。予測機関の平均見通しでは財政赤字は1.2%と見込まれている。政府の思惑通りに赤字を削減できない可能性はあるが、財政赤字幅は小さくまた改善に向かっている。基礎的財政収支はすでに黒字に転じていることも考えると財政に対する懸念は小さい。一般政府債務残高のGDP比はピークアウトし2017年は102.8%に低下した。

政府債務の大きさを考えると、財政健全化への取り組みは依然としてベルギー政府の最重要課題の一つとR&Iはみている。景気循環要因と一時的要因などを除いた構造的財政収支の改善は、2017年の安定成長計画で示された見通しから遅れており、今後の対応が注目される。一方、経済面では、競争力強化や生産性の向上および雇用創出といった課題を抱える。ミシェル政権は、競争力改善に向けた実質賃金上昇の制限や、賃金の物価スライド制の一時的凍結を実施。また、雇用を促進するために所得税負担と雇用の社会保障負担を段階的に軽減するとともに、企業の投資促進を目的に法人税率の段階的引き下げも決めている。一連の改革の効果が注目される。

【格付対象】

発行者：ベルギー王国

名称	格付	格付の方向性
外貨建発行体格付	AA+ (維持)	安定的
自国通貨建発行体格付	AA+ (維持)	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	原 一樹
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年04月09日
主要な格付方法	ソブリンの格付の考え方 [2018.02.20]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	ベルギー王国
-------	--------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報 政府を含む公的機関が作成した財政・経済資料
品質確保のための措置 政府を含む公的機関が作成した、またはそれに準じた信頼性が確保されている資料であること。

情報提供者 —

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

信用格付に関わる留意事項

当該信用格付は、格付関係者からの依頼によるものではありません。

格付関係者から信用評価に重要な影響を及ぼす非公開情報は入手していません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。